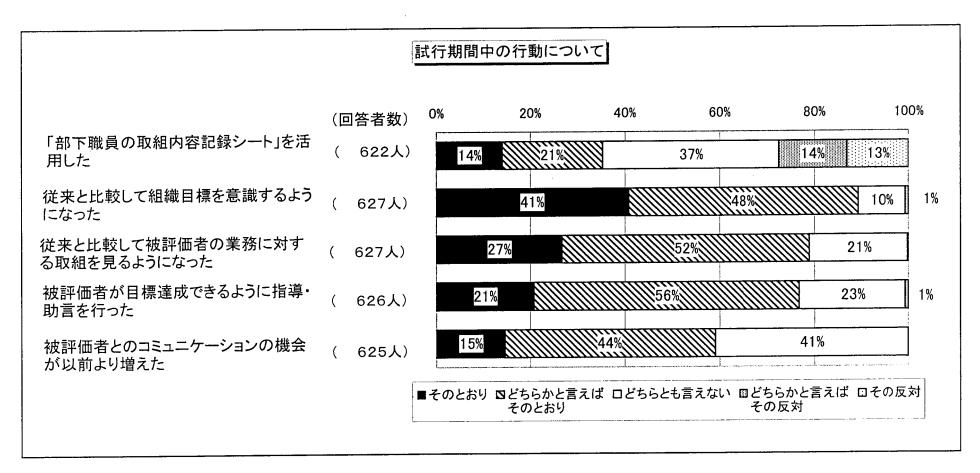
(評価者用アンケート/評価)

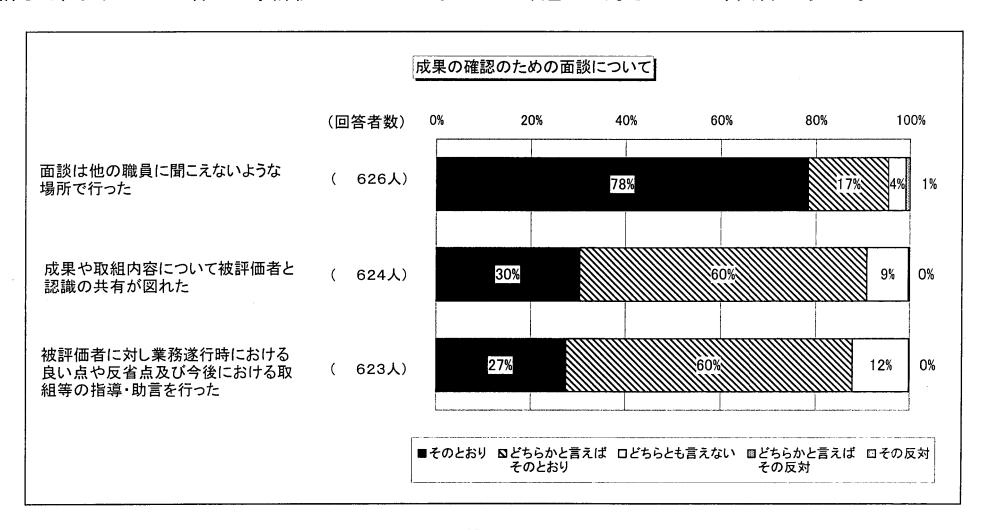
目標設定による効果

・「従来と比較して組織目標を意識するようになった」と回答した者は、「そのとおり」「どちらかと言えばそのとおり」を合計して、89%であった。

また、「被評価者とのコミュニケーションの機会が以前より増えた」と回答した者は59%であった。



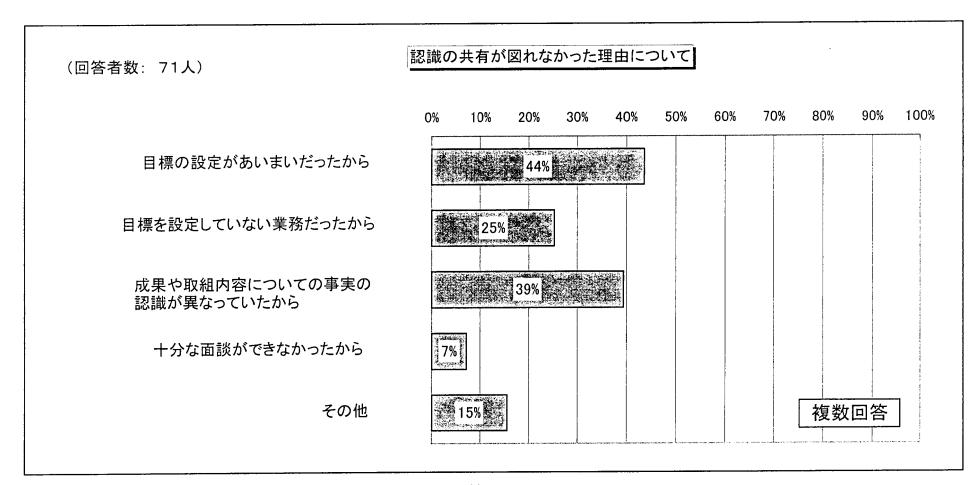
・ 面談時における評価者の行動については、いずれの項目も、「そのとおり」「どちらかと言えばそのとおり」を 合計して、ほぼ90%の者が人事評価マニュアルにもとづいて、適正に対応したという回答であった。



認識の共有について

・ 認識の共有が図れなかった理由として、「目標の設定があいまいだったから」と回答した者が最も多く44%であった。

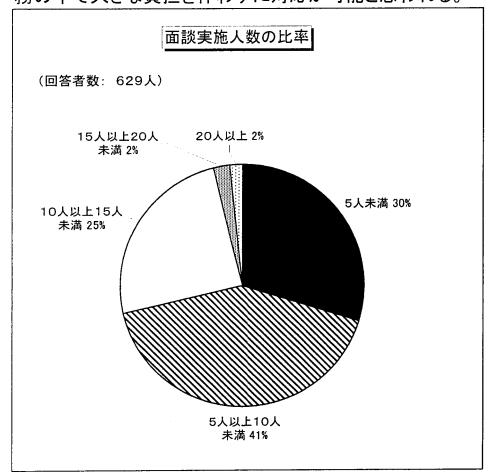
次いで、「成果や取組内容についての事実の認識が異なっていたから」と回答した者が39%であった。

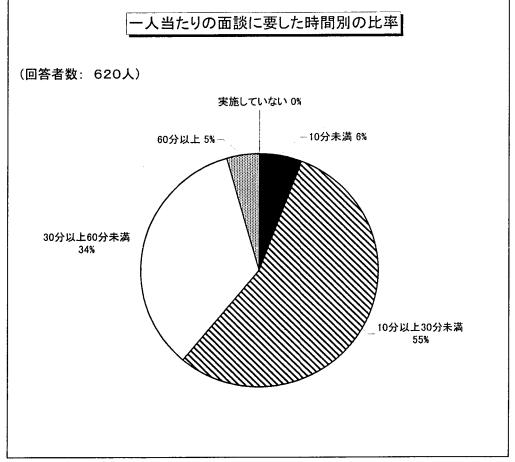


面談実施人数及び面談時間について

- 1次評価者が実施した面談者数は、96%が15人未満であった。
- 1人当たりの面談時間を最も多かった30分以内と仮定 すれば、総時間数が7.5時間となり、評価者は、日常業 務の中で大きな負担を伴わずに対応が可能と思われる。

1人当たりの面談に要した時間については、「10分以上30分未満」と回答した者が最も多く、55%であった。

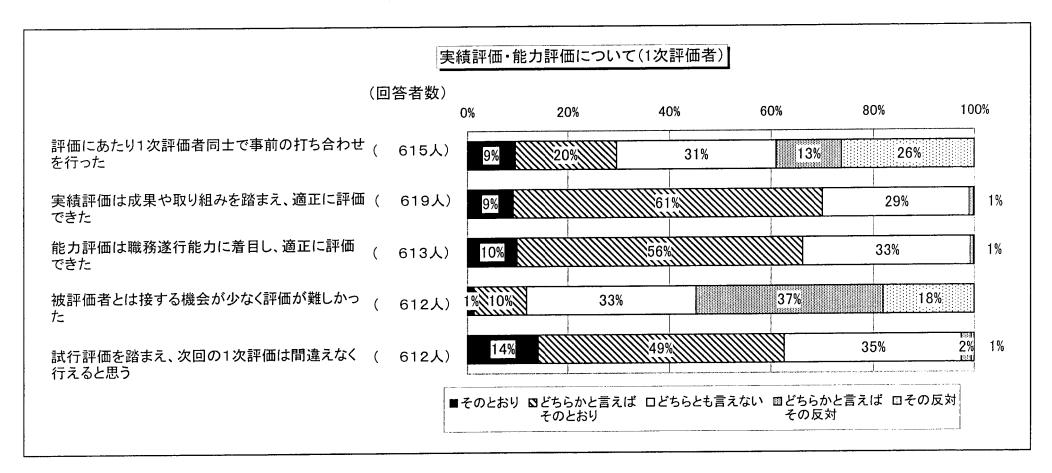




実績評価・能力評価について①

・ <u>1次評価者からの回答として</u>、「評価にあたり1次評価者同士で事前の打ち合わせを行った」と回答した者は、 「そのとおり」「どちらかと言えばそのとおり」を合計して、29%であった。

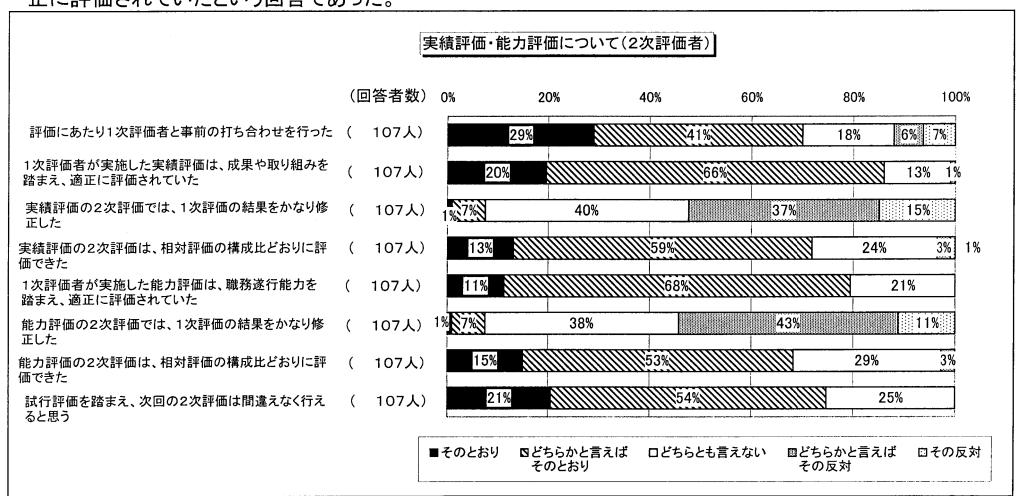
また、「実績評価は成果や取り組みを踏まえ、適正に評価できた」と回答した者が70%、「能力評価は職務遂行能力に着目し、適正に評価できた」と回答した者が66%であった。



実績評価・能力評価について②

・ <u>2次評価者からの回答として</u>、「評価にあたり1次評価者と事前の打ち合わせを行った」と回答した者は、「そのとおり」「どちらかと言えばそのとおり」を合計して、70%であった。

また、2次評価者から見た1次評価者の評価結果については、実績評価、能力評価とも、ほぼ80%の者が適正に評価されていたという回答であった。



(アンケート集計結果表)

目標設定に関するアンケート調査結果(被評価者用)

●調査実施状況

調査対象者(人)	回収人数(人)	回収率(%)
4,648	4,534	97.5

※ 回収人数と各問の回答合計人数の差は、無回答 によるもの。

問	1		Ħ	標	設	定	Ξ.	0	Ĺ١	7
		•	-	1775	ᄣ	<u>~-</u> ,	•	_	·	_

门门	. 日標設定についし												
		そのとおり	そのとおりどちらかと言えば	どちらとも言えない	その反対と言えば	その反対	合計	そのとおり	そのとおり	どちらとも言えない	その反対と言えば	その反対	合計
ア	人事評価制度の研修(伝達研修)をきち んと受けた	3263	1020	198	33	14	4528	72.1%	22.5%	4.4%	0.7%	0.3%	100.0%
1	人事評価制度について理解できた	1246	2440	717	105	24	4532	27.5%	53.8%	15.8%	2.3%	0.5%	100.0%
ゥ	目標達成シートの記入方法を理解できた	1254	2436	709	112	19	4530	27.7%	53.8%	15.7%	2.5%	0.4%	100.0%
I	「業務の量的成果・サービス品質お客様 満足度」「チャレンジ業務」「人材育成」の 目標の分類は理解できた	1125	2272	976	130	19	4522	24.9%	50.2%	21.6%	2.9%	0.4%	100.0%
オ	目標は設定できた	1584	2102	719	92	25	4522	35.0%	46.5%	15.9%	2.0%	0.6%	100.0%
カ	半期ごとに目標設定することについては、半期ごとに勤勉手当を支給しなければならないため、必要だと思う	779	1201	1901	418	220	4519	17.2%	26.6%	42.1%	9.2%	4.9%	100.0%

問2. 面談に要した時間

問3. 目標設定面談について

		回名	S数
		人	%
1	実施していない	34	0.8%
2	10分未満	734	16.2%
3	10分以上30分未満	2474	54.7%
4	30分以上60分未満	1058	23.4%
5	60分以上	223	4.9%
	合 計	4523	100.0%

評価者と目標について十分共有が図れ

2161

1812

463

26

6

4468

48.4%

40.6%

10.4%

0.1% 100.0%

		そのとおり	そのとおりどちらかと言えば	どちらとも言えない	その反対と言えば	その反対	合計	そのとおり	そのとおり	どちらとも言えない	その反対と言えば	その反対	合 計
ア	面談は他の職員に聞こえないような場 所で行われた	3722	548	156	29	20	4475	83.2%	12.2%	3.5%	0.6%	0.4%	100.0%
1	面談は話しやすい雰囲気で行われた	3325	981	157	10	3	4476	74.3%	21.9%	3.5%	0.2%	0.1%	100.0%
ゥ	評価者とは日頃からコミュニケーション をとっている	2153	1600	618	72	32	4475	48.1%	35.8%	13.8%	1.6%	0.7%	100.0%
エ	評価者は私の話をよく聞いてくれた	2774	1432	255	6	5	4472	62.0%	32.0%	5.7%	0.1%	0.1%	100.0%
ォ	評価者は私の担当業務をよく把握している	2805	1352	282	25	9	4473	62.7%	30.2%	6.3%	0.6%	0.2%	100.0%

-35-

【社会保険事務所長のみ回答】

問4. 事務所長の目標項目について

, -, , ,	于75171 民 以 日 宗·民日已 20 C		
		回答	S数
		人	%
1	今回のように目標設定がされている方 がよい	210	68.4%
2	目標設定がされている方がよいが、見 直しが必要	92	30.0%
3	他の職員と同様に、組織目標を踏まえ て自由に設定した方がよい	5	1.6%
	숌 하	307	100.0%

問4-2. 見直しの内容について(上記問4で回答「2」の場合/複数回答可)

		回答	S数
		人	%
1	目標の項目を主要なものだけにして削減する	82	89.1%
2	追加した方がよいと思われる目標があ る	18	19.6%
3	もっと取り組みに対する目標を増やす	6	6.5%
4	その他	5	5.4%

【社会保険事務局上位役職者のみ回答】

問5. 事務局上位役職者の目標項目について

		回名	5数
		人	%
1	今回のように目標設定がされている方 がよい	255	69.7%
2	目標設定がされている方がよいが、見 直しが必要	100	27.3%
3	他の職員と同様に、組織目標を踏まえ て自由に設定した方がよい	11	3.0%
	숌 計	366	100.0%

問5-2. 見直しの内容について(上記問5で回答「2」の場合/複数回答可)

		回名	5数
		人	%
1	目標の項目を主要なものだけにして削 減する	72	72.0%
2	追加した方がよいと思われる目標があ る	21	21.0%
3	もっと取り組みに対する目標を増やす	8	8.0%
4	その他	18	18.0%

●調査実施状況

調査対象者(人)	回収人数(人)	回収率(%)
646	638	98.8

※ 回収人数と各間の回答合計人数の差は、無回答 によるもの。

【1次評価者からの回答】

問1. 面談者数

		回答	多数
		人	%
1	5人未満	195	30.6%
2	5人以上10人未満	265	41.6%
3	10人以上15人未満	157	24.6%
4	15人以上20人未満	11	1.7%
5	20人以上	9	1.4%
	合 計	637	100.0%

問2. 一人あたりの面談に要した時間

		回答	等数
		人	%
1	実施していない	0	0.0%
2	10分未満	55	8.6%
3	10分以上30分未満	330	51.8%
4	30分以上60分未満	208	32.7%
5	60分以上	44	6.9%
	合 計	637	100.0%

_ 問3	3.目標設定面談について				_								
		そのとおり	そのとおりどちらかと言えば	どちらとも言えない	その反対と言えば	その反対	合計	そのとおり	そのとおり	どちらとも言えない	その反対と言えば	その反対	合計
ア	面談は他の職員に聞こえないような場所 で行った	510	85	32	6	0	633	80.6%	13.4%	5.1%	0.9%	0.0%	100.0%
1	面談は話しやすい雰囲気で行った	398	210	23	2	0	633	62.9%	33.2%	3.6%	0.3%	0.0%	100.0%
ゥ	私は被評価者の担当業務をよく把握して いる	304	287	42	1	1	635	47.9%	45.2%	6.6%	0.2%	0.2%	100.0%
ェ	被評価者の目標達成シートは概ね記入で きていた	181	293	129	31	1	635	28.5%	46.1%	20.3%	4.9%	0.2%	100.0%
オ	目標について被評価者と十分共有が図れ た	232	320	77	5	1	635	36.5%	50.4%	12.1%	0.8%	0.2%	100.0%

【2次評価者からの回答】

問4. 目標設定面談について

		そのとおり	そのとおりどちらかと言えば	どちらとも言えない	その反対と言えば	その反対	40 計	そのとおり	そのとおり	どちらとも言えない	その反対と言えば	その反対	合計
ア	目標達成シートは記入できていた	63	56	16	2	1	138	45.7%	40.6%	11.6%	1.4%	0.7%	100.0%
1	目標について1次評価者に追加・修正の 指示を行った	53	49	17	7	9	135	39.3%	36.3%	12.6%	5.2%	6.7%	100.0%
ゥ	2次評価者が目標達成シートを確認する ことは必要だと思う	89	35	11	2	0	137	65.0%	25.5%	8.0%	1.5%	0.0%	100.0%

評価に関するアンケート調査(被評価者用)

●アンケート調査実施状況

調査対象者(人)	回収人数(人)	回収率(%)
4,648	4,544	97.8

※ 回収人数と各間の回答人数の差は、無回答によるもの。

問1.目標設定による効果について

101	試行期間中の行動について	そのとおり	そのとおりどちらかと言えば	どちらとも言えない	その反対と言えば	その反対	合計	そのとおり	そのとおり	どちらとも言えない	その反対と言えば	そ の 反 対	合計
ア	設定した目標を意識して業務を遂行するようになった	1146	2351	997	27	14	4535	25.3%	51.8%		0.6%	0.3%	100.0%
1	設定した目標が達成できるように評価者から指導・ 助言があった	1245	1932	1236	76	50	4539	27.4%	42.6%	27.2%	1.7%	1.1%	100.0%
ゥ	評価者とのコミュニケーションの機会が以前より増 えた	776	1814	1887	37	21	4535	17.1%	40.0%	41.6%	0.8%	0.5%	100.0%

_ 問2	. 成果の確認のための面談について												
		そのとおり	そのとおりどちらかと言えば	どちらとも言えない	その反対と言えば	その反対	台 計	そのとおり	そのとおりどちらかと言えば	どちらとも言えない	その反対と言えば	その反対	合計
ア	面談は他の職員に聞こえないような場所で行われた た	3758	593	145	23	11	4530	83.0%	13.1%	3.2%	0.5%	0.2%	100.0%
1	評価者は私の話をよく聞いてくれた	3046	1252	221	6	5	4530	67.2%	27.6%	4.9%	0.1%	0.1%	100.0%
ゥ	成果や取組内容について評価者と認識の共有が 図れた	2156	1920	423	16	8	4523	47.7%	42.4%	9.4%	0.4%	0.2%	100.0%
エ	評価者から業務遂行時における良い点や反省点 及び今後における取組等の指導・助言があった	2003	1883	594	33	11	4524	44.3%	41.6%	13.1%	0.7%	0.2%	100.0%

問3. 認識の共有について

	目標達成シートの自己評価について	回答	多数
	日保廷成グードの日ご評価について	人	%
1	評価者と同じ認識だったので、ほとんど修正しなかった	3267	72.7%
2	自己評価が厳しかったので、高い達成度に修正した(△→〇、○→◎など)	582	13.0%
3	自己評価が甘かったので、低い達成度に修正した (◎→○、○→△など)	591	13.2%
4	評価者と認識が異なったが、最後まで認識の共有が図れなかったため修正しなかった	53	1.2%
	合 計	4493	100.0%

評価に関するアンケート調査(被評価者用)

問4. 面接に要した時間

1014.	<u> 国接に安した時間</u>		
		回答	多数
		人	%
1	実施していない	4	0.1%
2	10分未満	545	12.0%
3	10分以上30分未滿	2591	57.2%
4	30分以上60分未満	1208	26.7%
5	60分以上	179	4.0%
	合 計	4527	100.0%

問5.	人事評価制度に対する理解度について												
	·	そのとおり	そのとおりどちらかと言えば	どちらとも言えない	その反対どちらかと言えば	その反対	合計	そのとおり	そのとおりどちらかと言えば	どちらとも言えない	その反対・どちらかと言えば	その反対	合計
ア	人事評価制度の概要は理解できた	1066	2744	655	53	16	4534	23.5%	60.5%	14.4%	1.2%	0.4%	100.0%
1	目標設定から成果の確認、評価までの大まかな流 れは理解できた	1194	2870	430	33	9	4536	26.3%	63.3%	9.5%	0.7%	0.2%	100.0%
ゥ	期首における目標達成シートの記入方法は理解で きた	1016	2621	806	79	10	4532	22.4%	57.8%	17.8%	1.7%	0.2%	100.0%
ェ	目標設定面談の実施方法は理解できた	1235	2620	618	40	11	4524	27.3%	57.9%	13.7%	0.9%	0.2%	100.0%
オ	目標達成シートの達成度の自己評価の記入方法 は理解できた	1128	2648	661	53	10	4500	25.1%	58.8%	14.7%	1.2%	0.2%	100.0%
カ	成果確認のための面談の実施方法は理解できた	1398	2553	535	31	10	4527	30.9%	56.4%	11.8%	0.7%	0.2%	100.0%
+	実績評価の1次評価の方法は理解できた	1016	2457	954	68	20	4515	22.5%	54.4%	21.1%	1.5%	0.4%	100.0%
ク	実績評価の2次評価(相対評価)の方法は理解で きた	640	2002	1628	164	48	4482	14.3%	44.7%	36.3%	3.7%	1.1%	100.0%
ケ	能力評価の1次評価の方法は理解できた	731	2148	1455	127	36	4497	16.3%	47.8%	32.4%	2.8%	0.8%	100.0%
	能力評価の2次評価(相対評価)の方法は理解で きた	573	1891	1770	183	56	4473	12.8%	42.3%	39.6%	4.1%	1.3%	100.0%

問6. 今後、特に改善や充実が必要だと思う事項について(3個以内で自由回答)

		回答	S数
<u> </u>		人	%
1	被評価者研修及び評価者研修の定期的な実施	264	5.8%
2	目標達成シートの自己評価の評価段階の見直し (3段階→4段階又は5段階)	307	6.8%
3	業務内容毎の目標の例示	448	9.9%
4	日標設定時期の見直し	223	4.9%
5	評価期間の見直し	349	7.7%
6	評価の最終結果の通知	88	1.9%
7	実績評価項目の見直し	111	2.4%
8	能力評価項目の見直し	45	1.0%
9	その他	125	2.8%
	숌 計	1960	43.1%

●アンケート調査実施状況

調査対象者(人)	回収人数(人)	回収率(%)
646	629	97.4

[※] 回収人数と各間の回答人数の差は、無回答によるもの。

【1次評価者からの回答】

問1 日標設定による効果について

ID] I	日標設定による効果についく												
	試行期間中の行動について	そのとおり	そのとおりどちらかと言えば	どちらとも言えない	その反対と言えば	その反対		そのとおり	そのとおりどちらかと言えば	どちらとも言えない	その反対と言えば	その反対	合計
ア	「部下職員の取組内容記録シート」を活用した	87	133	231	89	82	622	14.0%	21.4%	37.1%	14.3%	13.2%	100.0%
1	従来と比較して組織目標を意識するようになった	256	303	64	4	0	627	40.8%	48.3%	10.2%	0.6%	0.0%	100.0%
ゥ	従来と比較して被評価者の業務に対する取組を見 るようになった	168	327	131	0	1	627	26.8%	52.2%	20.9%	0.0%	0.2%	100.0%
エ	被評価者が目標達成できるように指導・助言を 行った	130	351	141	4	0	626	20.8%	56.1%	22.5%	0.6%	0.0%	100.0%
オ	被評価者とのコミュニケーションの機会が以前より 増えた	91	278	256	0	0	625	14.6%	44.5%	41.0%	0.0%	0.0%	100.0%

問2	成果の確認のための面談について												
		そのとおり	そのとおりどちらかと言えば	どちらとも言えない	その反対と言えば	その反対	包計	そのとおり	そのとおり	どちらとも言えない	その反対と言えば	その反対	合計
ア	面談は他の職員に聞こえないような場所で行った	491	105	24	6	0	626	78.4%	16.8%	3.8%	1.0%	0.0%	100.0%
1	成果や取組内容について被評価者と認識の共有が図れた	189	377	56	1	1	624	30.3%	60.4%	9.0%	0.2%	0.2%	100.0%
ゥ	被評価者に対し業務遂行時における良い点や反 省点及び今後における取組等の指導・助言を行っ た	171	376	75	1	0	623	27.4%	60.4%	12.0%	0.2%	0.0%	100.0%

問3. 成果や取組内容についての被評価者との認識の共有について

		回答	等数
		人	%
1	認識の共有が図れなかった被評価者はいなかった	555	88.7%
2	認識の共有が図れなかった被評価者がいた	71	11.3%
	合 計	626	100.0%

問3-2. 前問で認識の共有が図れなかった理由について(複数回答可)

		回答	\$数
		人	%
1	目標の設定があいまいだったから	31	43.7%
2	目標を設定していない業務だったから	18	25.4%
3	成果や取組内容についての事実の認識が異なっ ていたから	28	39.4%
4	十分な面談ができなかったから	5	7.0%
5	その他	11	15.5%
	合 計	93	131.0%

問4. 一人あたりの面談に要した時間

		回答数			
		人	%		
1	実施していない	0	0.0%		
2	10分未満	37	6.0%		
3	10分以上30分未満	342	55.2%		
4	30分以上60分未滿	213	34.4%		
5	60分以上	28	4.5%		
	승 計	620	100.0%		

問5. 面談実施人数

			回答	夸数
1			人	%
	1	5人未満	187	29.7%
ļ	2	5人以上10人未満	262	41.7%
•	3	10人以上15人未満	156	24.8%
	4	15人以上20人未満	13	2.1%
	5	20人以上	11	1.7%
		合 計	629	100.0%

問6	. 実績評価・能力評価について												
		そのとおり	そのとおりどちらかと言えば	どちらとも言えない	その反対と言えば	その反対	合計	そのとおり	そのとおりどちらかと言えば	どちらとも言えない	その反対と言えば	その反対	合計
ア	評価にあたり1次評価者同士で事前の打ち合わせ を行った	58	124	193	79	161	615	9.4%	20.2%	31.4%	12.8%	26.2%	100.0%
1	実績評価は成果や取り組みを踏まえ、適正に評価 できた	56	378	178	6	1	619	9.0%	61.1%	28.8%	1.0%	0.2%	100.0%
ゥ	能力評価は職務遂行能力に着目し、適正に評価できた	60	346	202	4	1	613	9.8%	56.4%	33.0%	0.7%	0.2%	100.0%
エ	被評価者とは接する機会が少なく評価が難しかった	8	64	205	224	111	612	1.3%	10.5%	33.5%	36.6%	18.1%	100.0%
オ	試行評価を踏まえ、次回の1次評価は間違えなく 行えると思う	86	297	213	12	4	612	14.1%	48.5%	34.8%	2.0%	0.7%	100.0%

評価に関するアンケート調査(評価者用)

【2次評価者からの回答】

問1. 実績評価・能力評価について その反対 どちらとも言えな こちらかとこ のとお のちら の反対か の反対 のとおり の反 ちらと 計 計 おか と言 も言 りと 言えば 言 言 ーえば えば 一えない えば 評価にあたり1次評価者と事前の打ち合わせを ア 31 44 19 6 7 107 29.0% 41.1% 17.8% 5.6% 6.5% 100.0% 行った 1次評価者が実施した実績評価は、成果や 取り組みを踏まえ、適正に評価されていた 1 21 71 14 0 107 19.6% 66.4% 13.1% 0.9% 0.0% 100.0% 実績評価の2次評価では、1次評価の結果をかな 7 40 1 43 16 107 0.9% 6.5% 40.2% 37.4% 15.0% 100.0% り修正した 実績評価の2次評価は、相対評価の構成比どおり 14 63 26 3 1 107 13.1% 58.9% 24.3% 2.8% 0.9% 100.0% に評価できた 1次評価者が実施した能力評価は、職務 オ 12 73 22 0 0 107 11.2% 68.2% 20.6% 0.0% 0.0% 100.0% 遂行能力を踏まえ、適正に評価されていた 能力評価の2次評価では、1次評価の結果をかな カ 7 1 41 46 12 107 0.9% 6.5% 38.3% 43.0% 11.2% 100.0% り修正した 能力評価の2次評価は、相対評価の構成比どおり 丰 16 57 31 3 0 107 15.0% 53.3% 29.0% 2.8% 0.0% 100.0% に評価できた 試行評価を踏まえ、次回の2次評価は間違えなく 22 58 27 0 0 107 20.6% 54.2% 25.2% 0.0% 0.0% 100.0% 行えると思う